

こんにちは。国際地域学部3年の高橋大輔です。ヴィリニウス大学での留学四ヶ月目の報告をします。リトアニアの五月は厚手のコート無しで過ごせる日が多いのですが、時折冬が戻ってきたかのように凍えることもありました。

リトアニアの観光スポットの一つ トラカイ



### 【日本人との交流】

日本人が留学先としてリトアニアを選ぶのは比較的珍しいことだとよく耳にします。このような状況のためか、私はヴィリニウス大学に通う日本人学生だけでなく、リトアニアを訪れる日本人、リトアニアに住んで記事や動画をネットに投稿する日本人、他のバルト三国（ラトビア・エストニア）の大学に通う日本人とも交流を持つことができました。

わざわざ留学先で日本人と会う必要は無いだろうと感じる方も多いと思います。ただ、今後再び日本で暮らす身としては、わざわざ同じ国に来た日本人との交流を遮断する必要もないのではないかと思います。あくまでも個人的な意見なのでご了承ください。



大量のたんぼぼの綿毛が舞って積もっている様子

### 【学期末試験】

ヴィリニウス大学では多くの授業が五月の中旬から六月の上旬の間で試験期間を設けています。

その試験内容は授業ごとに異なっており、テスト・レポート・プレゼンテーションなどがあります。しかし、福井大学で私が受けてきた授業との相違点がいくつかありました。まず、ある授業では、本番限りのテストを受ける代わりにレポートを書けば単位認定されることがあります。また別の授業ではテスト・レポート・プレゼンテーションをまとめて要求してくる場合もありました。これは友人から聞いた話なのですが、ある学生が普段の授業で十分に内容把握をしていると教授が判断した場合、その学生は学期末試験が免除されることがあるそうです。



ヴィリニウス市内に存在するウジュピス共和国の国旗が模られた地面

### 【致命的なミス】

ヴィリニウス大学の主な授業スタイルは知識を詰め込む形式であることは留学出発前から聞いていました。それを踏まえて、私はいくつかの授業を受けてきましたが、思ったことがあります。それは、授業のスピードがあまりに早過ぎるということです。基本的にヴィリニウス大学の教授陣は PPT を使って授業を進めていくのですが、それらのスライド一枚一枚にとんでもない量の文章が書かれており、時には生徒に板書をさせる気がないほどの速度でスライドが切り替わります。さらに板書している間にも教授は話を進めるので、内容は入ってこない上に板書も中途半端というのが正直な感想でした。

実はヴィリニウス大学の HP にはマイページ (学生ポータルのようなページ) が存在し、そこに各授業の PPT スライドと、加えて参考資料がアップされています。私は試験直前になるまでこの事実気が付きませんでした。

ここで、想定されるいくつかの疑問点について言及していきます。

Q. 教授から PPT のデータは貰わなかったのか？

一度、ある教授に頼んだのですが、その際、正直何を言ったのか聞き取れず、そのとき「他の生徒も頑張って板書しているから別にいらなかな」という考えが過ぎってしまいました。自分の英語力と注意力、分からなくても Yes という悪癖がこのような事態を招きました。

Q. 参考資料の存在になぜ気付かなかったのか？

殆どの授業では特に直接的な課題の要求はされなかった一方、ある授業が **Drop Box** というアプリを使って課題となる参考資料を配付していたので、それ以外の授業に参考資料は無いという認識で、マイページの存在については考えたことがありませんでした。

この失敗を今後の日々の糧にすると同時に、恐らく無いと思いますが、他の誰かが同じような失敗をしないことを祈ります。



ストリートミュージックのイベント 5/18 22:16



フォークロアアンサンブルのイベント 5/24 21:24